

# 連携教育開発センター紀要

## 第1号

2023.3

国立大学法人 奈良国立大学機構 連携教育開発センター

# 目次

## 論文

- ・TWELITE を用いた電子工作教材の開発 ..... 藪 哲郎 ..... 1
- ・沢野井信夫の「あそび」を活かした美術教育の構想（3） ..... 宇田秀士 ..... 9  
— 著作『版画のいろいろ - 版画あそび』の分析を中心に—
- ・授業づくりと学級での教師の児童への関わり方の工夫が「児童の自己有用感」に及ぼす影響 ..... 中村洸太 ..... 19  
中井隆司
- ・学校的相互行為の比較社会学序論 ..... 粕谷圭佑 ..... 29  
— へき地少人数校とオープンクラス実践校の参与観察から—  
平井大輝
- ・「書道の芸術性と実用性」初探 ..... 北山聡佳 ..... 39  
— 「墨書四面木簡」の制作から—  
橋本昭典
- ・「総合的な学習の時間の指導法」に関するオンデマンド教材の運用評価 ..... 小柳和喜雄 ..... 47

## 研究報告

- ・奈良教育大学における「総合的な学習の時間の指導法」の授業展開 ..... 赤沢早人 ..... 57  
— 2021 年度実施における成果と課題—
- ・「中学校と大学の連携による陶硯制作の実践」 ..... 長友紀子 ..... 63  
— 美術科と横断的・総合的な学習との関わりに着目して—  
原山健一  
萱のり子  
落合恵理
- ・不登校支援を行う教師に対するティチャー・トレーニングの実施報告 ..... 櫻井恵子 ..... 69  
生田周二  
櫻井裕子  
中山留美子  
石川元美  
大谷陽子
- ・奈良女子大学附属小学校における STEAM 教育の取り組み ..... 劉 麟 玉 ..... 73  
— 「GarageBand」を用いたリズムづくりを中心に—  
中村征司  
浅川希洋志
- ・数学免許に関する教職実践演習開始から現在 ..... 川崎謙一郎 ..... 79  
— 教職実践演習（数学免許）最終年次後期後半 一分野の実践例示—  
岡崎真也  
高橋 亮  
高木祥司  
伊藤直治  
舟橋友香  
近藤 裕
- ・幼小 9 年間の子どもの絶え間ない育ちをみとり・支える ..... 松田登紀 ..... 83  
— 教育当事者としての実践者が対話を通して幼小連携・接続の意味を生成する研修の開発—  
長谷川かおり  
柿元みはる

# contents

## Papers

- Development of Teaching Material for electronics using TWELITE ..... 1
- Sawanoi's Practical Concept of Art Education Utilizing the Idea of "Play" (3):  
Centering on the Analysis of "Various Printing:Printing-Oriented Play",  
Literary Work of Nobuo SAWANOI (1916-1990) ..... 9
- Effects of Ingenuity of Practice and Teacher's Interactions to Student in  
Classroom on Student's Self-Efficacy ..... 19  
Kouta NAKAMURA  
Takashi NAKAI
- Introduction to the Comparative Sociology of School Interaction  
:Observations of a Small Class School and a Open Class School ..... 29  
Keisuke, Kasuya  
Daiki, HIRAI
- A Preliminary Study of " The Artistry and Practicality in Calligraphy"  
:Through writing characters in black ink on the four sides of square  
wooden bars ..... 39  
Satoka KITAYAMA  
Akinori HASHIMOTO
- An Operational Evaluation Report of On-Demand Materials for " Teaching  
Method on the Period for Integrated Studies" ..... 47  
Wakio OYANAGI

## Study Reports

- Teaching Plan and Practice of Teaching Methods in the Period for  
Integrated Studies in Nara University of Education: Achievements and  
Problems of 2021 School Year Practice ..... 57  
Hayato AKAZAWA
- Practice of ceramic inkstone production through collaboration between  
junior high school and university: Focusing on the relationship between the  
art department and interdisciplinary and comprehensive learning ..... 63  
Noriko Nagatomo  
Kenichi Harayama  
Noriko Kaya  
Eri Ochiai
- The Practice report for Teacher Training for Teachers engaged in Support  
for non-attending students ..... 69  
Keiko SAKURAI  
Shuji IKUTA  
Yuko SAKURAI  
Rumiko NAKAYAMA  
Motomi ISHIKAWA  
Yoko OHTANI
- A Practice of STEAM Education in The Elementary School Attached to  
Nara Women's University: A Class of Rhythm Making by Using Applocattion  
"GarageBand" ..... 73  
Liou, Lin-Yu  
Nakamura, Masashi  
Asakawa, Kiyoshi
- A report on the teaching profession practice of the license of the  
mathematics during a period of about one decade up to the present time ..... 79  
Ken-ichiroh KAWASAKI  
Shin'ya OKAZAKI  
Ryo TAKAHASHI  
Yoshiji TAKAGI  
Naoharu ITO  
Yuka FUNAHASHI  
Yutaka KONDO
- Observing and Supporting the continuous growth of Children during their  
nine years of Kindergarten and Elementary School: Development of a  
training program for practitioners as educational parties to generate the  
meaning of collaboration and connection between kindergarten and  
elementary school through dialogue. .... 83  
Toki MATSUDA  
Kaori HASEGAWA  
Miharu KAKIMOTO

論

文

# 「国立大学法人奈良国立大学機構 連携教育開発センター紀要」編集規程

令和4年9月8日制定

## 1. 名称

国立大学法人奈良国立大学機構連携教育開発センターは、本センター規程第2条の目的を達成する一環として、「国立大学法人奈良国立大学機構 連携教育開発センター紀要」（以下、「紀要」という。）を年1回発行する。

## 2. 紀要編集委員会

- (1) 連携教育開発センター運営委員会規程第8条により、紀要編集委員会を設置する。
- (2) 紀要編集委員会は、連携教育開発センター長、副センター長およびセンターに所属する奈良教育大学および奈良女子大学（以下「両大学」という。）の教員（附属学校園教員を含む）をもって構成する。
- (3) 紀要の原稿の募集、査読者又は閲読者、採否、掲載の順序などについては、紀要編集委員会の議を経て決定する。

## 3. 執筆条件

執筆者には両大学の教員（附属学校園教員を含む）を含まなければならない。ただし、紀要編集委員会が認めた場合、その限りではない。

## 4. 原稿を投稿できる領域

執筆者は、[論文] [研究報告] [原資料] のいずれかの領域を選んで原稿（未公開のものに限る。）を投稿することができる。なお、投稿後に領域を変更することはできない。

## 5. [活動報告] の掲載

紀要編集委員会は、[論文] [研究報告] [原資料] に掲載される原稿とは別に、必要に応じて [活動報告] を掲載することができる。

## 6. 査読又は閲読

- (1) [論文] は、査読を行う。査読者2名以上の審査に基づき紀要編集委員会で下記のいずれかに決定し、執筆者に通知する。  
A 採択（字句等の軽微な修正を含む）、B 修正（再審査を要する）、C 不採択
- (2) [研究報告] 及び [原資料] は、閲読を行う。閲読者1名以上の審査に基づき、紀要編集委員会が執筆者に内容の修正を求めることがあり、修正に十分応じることができなかつた場合は、不掲載となる場合がある。

## 7. 執筆要項

執筆者は、別に定める「執筆要項」に従って原稿を作成するものとする。要項に従わない原稿は原則として受理しない。

## 8. 研究倫理

執筆者は、所属する大学の定める研究者行動規範に基づき、原稿を作成するものとする。

## 9. 原稿における著作権・肖像権の取り扱い

執筆者は、著作権者への掲載承諾が必要なものを掲載したい場合は、必ず投稿前に書面で承諾を得るようにする。

また、本人と同定できる人物の顔が写った写真を掲載したい場合、以下の条件を満たすこととする。不可能な場合は、本人と同定できないよう一部分を隠したりぼかしを入れたりする等の処理を行うこととする。

- (1) その写真の掲載が、論の展開にとって必要不可欠であること。
- (2) その人（子どもの場合は保護者や学校）の承諾が書面で得られていること。

## 10. 原稿の投稿締め切り及び投稿方法

原稿の投稿締め切り期日は、紀要編集委員会において定める。期日後に投稿されたものについては、受理しない。なお、執筆者は、「執筆要項」において指定された形式で作成した原稿データ（WORD ファイルと PDF ファイル）を Web から投稿する。投稿後の改稿は、紀要編集委員会から要請を行う場合を除き、一切行えない。

## 11. 校正

執筆者による校正は初校までとする。校正は、誤字・脱字等の訂正にとどめることとする。それ以外の訂正は受け付けない。2校および念校は、紀要編集委員会の責任によって行う。

## 12. 原稿の利用許諾権の移譲

掲載決定後、両大学の学術リポジトリに無償で登録・公開することを目的として、執筆者は掲載原稿の利用許諾権を紀要編集委員会に委譲する（著作権は執筆者に属する）。また、執筆者は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が作成するデータベースに掲載原稿の要旨が無償で登録・公開されることに関する利用許諾権についても、紀要編集委員会に委譲する。

## 紀要編集委員会

委員長 赤沢 早人  
委員 小川 伸彦  
伊藤 剛和  
北尾 悟  
竹村 謙司  
立松麻衣子  
中山留美子  
橋崎 頼子  
芝崎 学  
山下 靖  
粕谷 圭佑  
保田 卓  
竹橋 洋毅  
小崎 誠二  
駒谷 昇一  
瀧本 栄二  
長谷川かおり  
前田 康二

### 連携教育開発センター紀要

Bulletin of Center for Interprofessional Education Development

第1号

2023年3月31日 発行

発行者 奈良国立大学機構  
連携教育開発センター  
印刷所 株式会社 JITSUGYO  
奈良県奈良市東九条町 6-6